

女性医師世代間アンケート集計結果

二輪草センター助教 菅野 恭子

先日行いました仕事に対する意識調査のアンケート結果がでましたのでご報告します。

旭川医科大学に勤務中の女性医師 116 名にアンケート用紙を配り 66 名から回答を得ました。(回収率 57%)

回答者をゆとり世代 (31 歳以下)、ポスト団塊ジュニア (32~43 歳)、団塊ジュニア (44~47 歳)、バブル世代 (48~54 歳)、団塊の世代 (54 歳以上) に分け、回答に差がみられるか検討しました。ポスト団塊ジュニアが 32 名と最も多く、次いでゆとり世代 24 名、団塊ジュニア 5 名、バブル世代 3 名、団塊の世代 2 名でした。

回答者が多かったポスト団塊ジュニアとゆとり世代を比較すると、子供の有無はポスト団塊ジュニアは 56%、ゆとり世代は 17%が子供を有していました。将来リーダーになりたいかの質問ではポスト団塊ジュニアはなりたい、なりたくないの比が 1 : 2 に対し、ゆとり世代では 1 : 4 でした。仕事とプライベートの優先度について、ポスト団塊ジュニアはどちらかという仕事、どちらかというプライベートが同数で、ゆとり世代ではどちらかというプライベートが最も多かったです。仕事の目的についての問いでは、やりがいと収入が全ての世代で高く、次いで収入でした。ポスト団塊ジュニアは社会貢献、自己研鑽、専門性、社会的地位を選んだ人がゆとり世代より多い結果となりました。40 歳以上の医師が若い頃を振り返り回答してもらったところ自己研鑽が最も高く、ゆとり世代と比較すると社会貢献、専門性、社会的地位を選んだ人が多かったです。ポスト団塊ジュニアと 40 歳以上の医師の若い頃の意識にはあまり差がみられませんでした。以上の結果から世代間による仕事に対する意識の違いが明らかになりました。今後これからの世代をサポートしていく上で仕事を続けていく事の意味、重要性を発信し続ける必要があると考えました。

この度はお忙しい中アンケートにご協力頂き誠にありがとうございました。

